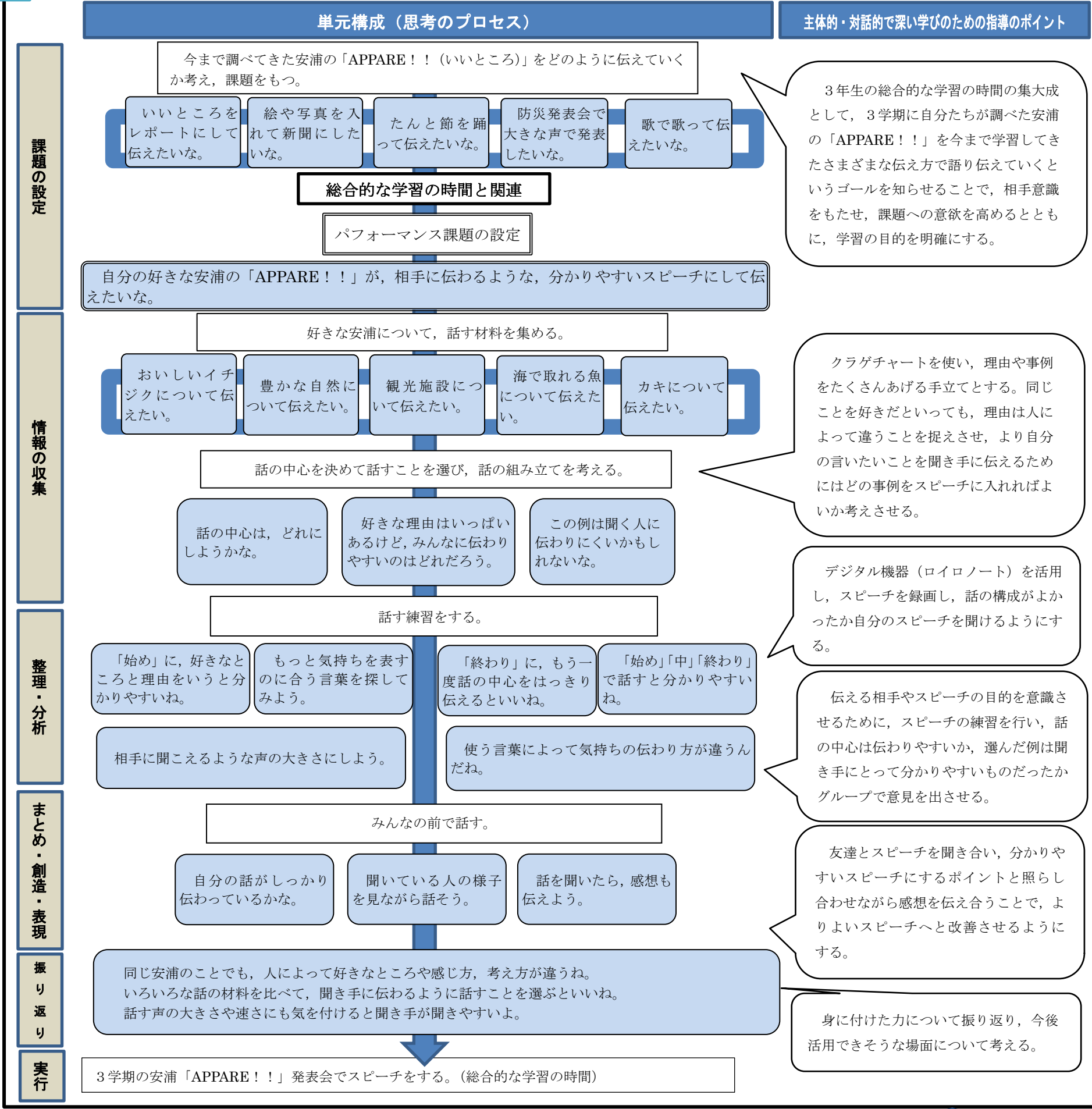


国語科 第3学年1組 単元名 わたしのイチオシ、「APPARE!!安浦」について話そう！（話したいな、わたしの好きな時間） 指導者 磯本 尚岐

本質的な問い 自分の思いを相手に伝えるためには、どうすればよいだろうか。

1	本単元で目指す児童の姿				
	本単元で目指す児童の姿	安浦のいいところについて調べたことをもとに、相手に伝わるように、集めた材料を比較したり分類したりして、理由や事例を挙げながら、話の内容の中心が明確になるよう話の構成を考えて話している。	育成を目指す資質・能力	知識及び技能	様子や行動、気持ちや性格を表す語句の量を増やして話の中で使うことができる。相手を見て伝わりやすいよう話し方をする。
				思考力、判断力、表現力等	相手に伝わるように、理由や事例などを挙げながら、話の中心が明確になるよう話の構成を考えることができる。
学びに向かう力、人間性等				言葉がもつよさに気付くとともに、幅広く読書をし、国語を大切に、思いや考えを伝え合おうとする。	
単元を貫く問い		どうすればスピーチで言いたいことを相手に伝えることができるだろうか。			

4 **課題発見・解決学習の過程**



3年生の総合的な学習の時間の集大成として、3学期に自分たちが調べた安浦の「APPARE!!」を今まで学習してきたさまざまな伝え方で語り伝えていくというゴールを知らせることで、相手意識をもたせ、課題への意欲を高めるとともに、学習の目的を明確にする。

クラゲチャートを使い、理由や事例をたくさんあげる手立てとする。同じことを好きだといっても、理由は人によって違うことを捉えさせ、より自分の言いたいことを聞き手に伝えるためにはどの事例をスピーチに入れればよいか考えさせる。

デジタル機器（ロイロノート）を活用し、スピーチを録画し、話の構成がよかったか自分のスピーチを聞けるようにする。

伝える相手やスピーチの目的を意識させるために、スピーチの練習を行い、話の中心は伝わりやすいか、選んだ例は聞き手にとって分かりやすいものだったかグループで意見を出させる。

友達とスピーチを聞き合い、分かりやすいスピーチにするポイントと照らし合わせながら感想を伝え合うことで、よりよいスピーチへと改善させるようにする。

身に付けた力について振り返り、今後活用できそうな場面について考える。

2 **パフォーマンス課題** 3 **ルーブリック（見直し・改善）** 5

総合的な学習の時間

みんなが大好きな安浦町は自然豊かで、特産物もたくさんあり、すてきな町です。しかし、4年前の西日本豪雨災害で家や建物など大きな被害が出て、安浦町の人口が減っていることを社会科の時間に学習しました。そこで、たくさんの人に安浦の町のことを知ってもらい、安浦にたくさんの人に来てもらうために、「安浦APPARE!!発表会」で自分や家族、地域の人たちの安浦への思いや願いをいろいろな方法で発信しよう。

国語科

皆さんのイチオシな安浦のいいところをクラスの友達に分かりやすく話して伝えるスピーチに挑戦して、スピーチをマスターしましょう。

尺度	レポートの構成
3	話の中心が明確になるように、理由や事例を複数挙げて話の構成を考え、相手を見て、 伝えたいことが相手により伝わりやすいよう工夫して話している。
2	話の中心が明確になるように、理由や事例を挙げて話の構成を考え、相手（クラス全体）を見て話している。
1	相手に伝わるように話の中心を選び、話の構成を考えて話している。